



留萌市:かもめ幼稚園
もちつき会

留萌管内の初詣で・初日の出紹介！！

「留萌管内歴史探訪」では、留萌神社を紹介。神社で年末年始に行われる神事についてもお話を伺いました。また、各市町村の情報員のご協力で、管内のオススメ初日の出スポットと管内の神社も合わせてご紹介します。

留萌管内歴史探訪



留萌神社

住所：留萌市宮園町4丁目16番地
 電話番号：0164-42-0611
 御祭神：市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)

留萌で一番古くから信仰を集めている留萌神社は、1786年に当時の支配人であった栖原家が海上安全、漁業祈願のために安芸の国(現在の広島県)から御分霊を奉祀したのが始まり。創建当初は留萌川河口にあったが、川が氾濫するたびに社殿が浸水の被害にあったため、幸町(現在の市役所裏の駐車場)に社殿を移す。しかし、ここでも雨風による社殿の損壊が激しかったため、大正14年に現在の宮園町の場所に移転した。



左大臣 留萌神社の祭壇 右大臣

おはらい

年末の行事(年越大祓式)

大祓式は、私達が知らず知らずのうちにおかした罪を神様の力で祓い清めて頂く式。留萌神社で購入したお札の中に同封されている人形(ひとがた)に、家族全員の氏名と年齢を記入する。人形には白と赤の2体あり、男性は白、女性は赤にそれぞれ記入する。記入した後は、息を吹きかけて諸々の罪を人形に移して、祓い清める。留萌神社では12月31日午後9時から取り行われる。

年始の行事(どんど焼き)



今年の様子(留萌神社)

どんど焼きは、正月の松飾りやしめ縄、古い御神札などを焼く行事。この火にあたると、1年間は丈夫に過ぎ若返ることができると言われる。昔は1月7日と15日に行っていたが、現在は成人の日に合わせて行われる。新年の留萌神社では、1月7日(水)と12日(月)に行われる。

留萌管内の神社へ地元情報員オススメの初日の出スポット

- 【幌延町】
幌延神社(幌延町5条南1丁目)
初日の出 知駒峠周辺(中屯別と幌延を結ぶ道道785号線)
[7時11分頃]
- 【天塩町】
厳島神社(天塩町川口)
初日の出 海岸通り周辺(てしお温泉夕映の通り)
[7時10分頃]
- 【遠別町】
遠別神社(遠別町本町5丁目)
- 【初山別村】
稲荷神社(初山別村初山別)
豊岬稲荷神社(初山別村豊岬)
初日の出 しょさんべつ天文台(初山別村豊岬)
[7時09分頃]
- 【羽幌町】
羽幌神社(羽幌町南大通6丁目)
厳島神社(羽幌町天売)
厳島神社(羽幌町焼尻)
初日の出 羽幌霊園周辺(羽幌町寿町)
[7時08分頃]
- 【苫前町】
苫前神社(苫前町苫前)
稲荷神社(苫前町力屋)
古丹別神社(苫前町古丹別)
初日の出 上平ウインドファーム(苫前町上平)
[7時09分頃]
- 【小平町】
小平神社(小平町小平)
厳島神社(小平町鬼鹿港町)
- 【留萌市】
留萌神社(留萌市宮園町4丁目)
幌糠神社(留萌市幌糠)
厳島神社(留萌市礼受)
稲荷神社(留萌市三泊)
初日の出 自由が丘周辺(留萌市千島町)
[7時07分頃]
- 【増毛町】
厳島神社(増毛町稲葉町3丁目)
恵比須神社(増毛町別刈)
稲荷神社(増毛町阿分)
倉熊神社(増毛町倉熊)
初日の出 オーベルジュ増毛周辺(増毛町別刈)
[7時08分頃]

写真提供：渡辺一夫氏(留萌市)

編集後記

今号では留萌管内のお正月風景をご紹介します。冬至、もちつき、歳の市、除夜の鐘、正月、初詣、鏡開き・・・暮れから新年にかけての年中行事は親から子へ伝えられ、さらに続いてゆくのですね。るもいfan通信をご愛読いただいている皆様のご多幸を編集局一同祈っております。新たな年も、留萌管内の旬の情報をお届けいたします!(米倉 礼子)



伴商店の正月飾り...P3



もちつき会...P3



塩くじら【季節の食材】...P2



熊田さん【旬の人】...P2

留萌地域情報サイト **るもいfan** あなたの 人・食・地域の情報おまちしております!
 発行・編集/地域情報受発信システム実行委員会

北海道留萌市船場町 2丁目 JR 留萌駅 2階
 tel. 0164-42-3871 fax. 0164-42-2200

FM もえる 76.9MHz
 「わがマチ元気発信」
 平日 8:25/12:25/18:25~

http://rumoifan.net
 毎日情報更新中!

ポッドキャスト配信中
 るもいfan.net トップページ
 「食の交流放送」からアクセス

熊田 春子さん

KUMADA Haruko

夫婦が育てた米で
作る素朴な菓子

花ぼうろ―九州長崎・雲仙では霧氷が樹木に咲かせる氷の花を「つ呼ぶ」といふ。北限の稲作地帯遠別町には、色鮮やかな餅菓子の花を咲かせる菓子工房「花ぼうろ」がある。

夢の工房で

午前4時。夜明け前の暗闇が広がる遠別町の稲作地帯。1軒だけぼつりと灯りがともっている。菓子工房「花ぼうろ」の灯りだ。工房のドアを開けると、もち米を蒸す甘い匂いに包まれる。蒸し器からは湯気が立ち上り、その傍らで熊田春子さんは一人黙々ともちを丸めている。春子さんは終



熊田 春子 さん
昭和21年生まれ
幌延町出身 遠別町在住
菓子工房「花ぼうろ」
天塩郡遠別町字久光

プロフィール

戦間もない昭和21年に留萌管内幌延町で生まれた。21歳のとき、ご主人の正之さんと結婚。以来二人で力を合わせて田畑を耕してきた。子育て真っ最中の30代の頃から、手造りの菓子で商売がしたいと思っていたがままならず、50代にさしかかった頃にその夢は叶った。菓子工房「花ぼうろ」の誕生だ。原材料は自慢の「はくちようもち」。熊田さん夫婦が育てたもち米。

素朴な味がいい

製造販売する菓子は、春子さんがお母さんから教わった大福もちやおこし。普段から子供や孫のおやつにと春子さんが手作りしていたものばかりだ。納屋を工房に改造し商いを始めたのは平成16年のこと。7種類の「大福もち」と8種類の「おこし」を作っている。大福餅は白・よもぎ・黒豆・かぼちゃ・紫いも・ゴマ・紅シヨウガ。おこしはえび・くるみ・ピーナッツ・青のり・黒豆・かぼちゃの種・黒砂糖・こまのトッピングがある。

「昔のおこしは硬くなった餅を砕いて、油で揚げて塩をかけただけ。当時の子ども達にとっては贅沢なおやつだった」と話す春子さん。会話を続けながらも作業を続ける手は決してとめない。「餅はすぐ固くなるから



素早く餅を丸める



人気の餅菓子

手早くやらないと」。真剣な表情で次々と餅に餡を包み、見事な手さばきで丸めていく。

正之さんと一緒に汗を流して育てた「はくちようもち」で作る餅菓子は、遠別町と隣町の天塩町Aコープでのみ販売している。夏の観光シーズンだけは、道の駅の一画で仲間と営む直売所「花菜夢(かなむ)」で販売する。おいしいうちに味わってもらいたいから、自分の手で作れるだけの菓子だけを作る。春子さんは夜明け前の工房で、素朴なお菓子を今日も作り続ける。

かもめ幼稚園のもちつき会

今では見かけなくなりましたが、以前は新年を迎える年中行事のひとつとして、一家総出で餅つきをしたものです。その伝統的な餅つきを園児達へ伝えるため、留萌市内のかもめ幼稚園では毎年「もちつき会」を行っています。

を入れ、蒸し器でもち米を蒸します。準備が整った頃、園児達がやってきて臼を囲み、好奇心いっぱいの瞳でもちつきが始まるのを待っています。お父さんが杵でつき、お母さんが「ハイ！ハイ！」と合いの手をいれながら、タイミングよく返し手(相どり)をします。傍らで、園長先生がもちつき由来を話します。お父さんが杵を振り降ろすたび、園児達は「よいしょ、よいしょ」と一所懸命に小さな体で声援を送り、その声に

たんと縁起のいい音が会場に響きます。

最後は園児達も子供用の杵と臼で餅をつき、つきあがった餅は自分の手で丸めます。お昼にはあんこやきな粉、磯辺餅にしてみんなで味わうのです。

ついた餅は、お供えや繭玉飾りとして、水木の枝に飾られます。大人になったとき、この体験が大切な思い出となるに違いありません。新しい年も元氣な園児達の笑顔が広がることでしょう。



餅で作った繭玉を枝に巻きつけて、繭玉飾りの完成
上手に餅を丸められるかな?
学校法人萌愛学園かもめ幼稚園 留萌市開運町2丁目

どここの国でも祭日には特別な食べ物準備しお祝します。

線路がなければ電車があってもしょうがないと同じように祭日には特別な食べ物不足です。欧米ではバレンタイン、ハロウィン、クリスマスなどがありません。アメリカ育ちの私にとってクリスマスにはサンタクロースと七面鳥・ハム・パンプキンパイと克蘭ベリーソース。これが一緒になければクリスマスらしくないお祝いになります。



愛マイ餅

日本に来て驚いたことは季節毎の行事やお祝い事が多いこととです。その中で正月のお餅は大好きです。あんこ餅・よもぎ餅・焼き餅、すべての種類が好きです。

20年前に留萌生として留萌に来て初めて餅を食べる夢になりました。笑い話ですが帰国した夏には消化した餅がお尻に5キロ程ついていました。

子供が生まれて地元産の食材にこだわり食べる幸せに目覚めてからは、餅つきをすることが年末の楽しみの一つとなっています。地元の流通でもち米を買い精米し玄米餅も作っています。小平の福田さんの黒米を混ぜて黒米餅も作れます。それぞれのバリエーションを楽しみながら留萌地域との絆が餅のようにしっかりと繋がってきているように感じます。新しい年にも良い関係がつくように年末留萌管内産の美味しいもち米を

「ふるもいフードマガジン」は留萌管内の地産地消・食についての情報交換の場です。どなたでもご参加できます。

ふるもいフードマガジン
〒077-0046
北海道留萌市港町3丁目13番地
電話番号 / ファクシミリ
0164-42-9757
E-mail alainasato@hotmail.com



主宰 佐藤アレーナさん

ふるもいフードマガジンブログ <http://rfm.blog51.fc2.com>



伴商店
花園町1丁目(ふくちゃんラーメン隣り)
電話番号 0164-42-1266

店の軒先に並べ、販売する様子は年の瀬の風物詩です。31日まで販売しています。

伴商店

正月飾り製造販売

正月に欠かせないのが正月飾り。玄関には門松・注連飾り・清々のお札を替え、家中を清々しく掃除し、年の神様をお迎えます。

留萌市花園町1丁目の伴商店では家族で正月飾りを作り、卸売りと小売りをしています。



④最後に長葱をはなす。野菜の甘みと、くじらの脂でまろやかな「くじら汁」が完成。



③すべての具材に火が通ったら、醤油と酒で好みの味をつけ調える。



②大きめの鍋に出し汁を張り、根菜類を入れて5分ほど煮たら、長葱以外の野菜とくじらを入れる。



①材料は一口大に切る。くじらは皮を取り薄い短冊切り。熱湯で2回ゆでこぼし余分な脂を抜く。

伝統的な年越し料理「くじら汁」をご紹介します

材 料
塩くじら (冷凍)
根菜類 (ごぼう・大根・人参など)
山菜類 (わらび・ふき・筍など)
葉菜類 (きゃべつ・白菜など)
高野豆腐・こんにやく
きのこ・長葱などお好みで

(くじら汁は各家庭によって具材が変わる)

レシピ: 留萌市 佐藤 文子さん